

科目名 (科目番号)	臨床血液学 (時間割参照)	教員名 山口 孝一	学科等	臨床検査	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	講義	オフィスアワー	月曜日5限	
授業概要	臨床検査技師として血液検査学を学ぶ前段階として、血液学の基礎を学修する。血液の成分、性状、機能、産生と崩壊、また血球についての形態と機能、代謝、生理等を理解する。さらに、止血機構、凝固・線溶系についても理解する。血液検査結果と代表的な血液疾患との臨床的意義についても基礎的な内容を学修する。						
目的・目標	目的:臨床検査技師として血液検査を行う際に必要とされる血液学の基礎知識の修得 目標:①血液総論、血球(白血球・赤血球・血小板)について基礎的な内容の理解 ②止血機構、凝固・線溶系について基礎的な内容の理解						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	血液の基礎 - 1	到達目標:血液と血液検査学、血液の成分・性状・機能について理解する。 学習内容:血液と血液検査学、血液の成分・性状・機能				
	2	血液の基礎 - 2	到達目標:血球の産生と崩壊について理解する。 学習内容:血球の分化と成熟、造血因子、造血器官、血球の個体発生、胎生期造血、血球回転				
	3	血球:赤血球	到達目標:赤血球の産生と崩壊・形態と機能・生化学について理解する。 学習内容:赤血球の産生と崩壊・形態と機能・生化学				
	4	血球:白血球	到達目標:白血球の産生と崩壊・形態と機能について理解する。 学習内容:白血球の産生と崩壊・形態と機能				
	5	血球:血小板	到達目標:血小板の産生と崩壊・形態と機能について理解する。 学習内容:血小板の産生と崩壊・形態と機能				
	6	止血機構	到達目標:止血機構(血管と止血、血小板の機能)について理解する。 学習内容:血管と止血、血小板の機能				
	7	血液凝固・線維素溶解系 - 1	到達目標:血液凝固、繊維素溶解について理解する。 学習内容:血液凝固(凝固機序・凝固因子・制御機構)、線維素溶解(線溶機序・線溶因子・制御機構)				
	8	血液凝固・線維素溶解系 - 2	到達目標:分子マーカー、出血性素因と検査法、血栓症と抗血栓療法について理解する。 学習内容:分子マーカー、出血性素因と検査法、血栓症と抗血栓療法				
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)						
教科書	最新 臨床検査学講座「血液検査学 改訂3版」/血液細胞症例集		奈良信雄、他 著/ 監修:一般社団法人日本臨床衛生検査技師会		医歯薬出版/丸善出版		
参考図書	血液検査技術教本		監修:一般社団法人日本臨床衛生検査技師会		丸善出版		
教員からのメッセージ	昨年度の授業評価アンケート結果に基づく改善を施します。 医療提供施設で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知いたします。						